

総長先生による授業見学（研修）についての感想文

経済学修士 西山祐司

授業内容：公務員試験対策講座 判断推理（月曜5限）

今回は、中島総長先生にご指導していただく機会をいただきありがとうございました。

講義中、また、講義後に具体的な講義の進め方から、本校の教育理念につながる話に至るまで、様々な貴重なアドバイスをいただき、教育者として大きく成長できる機会となりましたこと、心より御礼申し上げます。

今回の感想としまして、授業を行った当事者として反省を中心に述べさせていただきます。

まず1点目ですが、解説を行う際、説明はできる限りコンパクトに行うことこそが、学生のためになるという部分を再確認させていただきました。

今回、中島総長先生から「簡単に」「単純に」「手短に」というわかりやすい言葉を使ってご指導いただくことで、私の講義の中で冗長な部分を改めて気付かせていただきました。

理系科目というのは、本学に所属する文系の学生にとっては非常に鬼門となる科目であり、中島総長先生がおっしゃられた通り、理系科目で高得点を取れば、公務員試験を突破することは容易となりますため、担当者としては、学生の進路を左右する大きな役割を担っていることを肝に銘じる必要があります。

その点において、学生に理解させることこそが重要であり、必要以上に解説を加えている部分が生じてしまっていたことは、自分ではなかなか客観的に感じとる部分ができないところであり、大いに反省する必要性を感じた次第です。

2点目の反省点としては、講義運営についてです。

事前にある程度、説明に要する時間、暗記する時間、類題を演習する時間、確認テストの時間といったシミュレーションを行っておりましたが、講義終盤において、少し時間が足りなくなるという事態になりました。

また、講義の途中で、「学生に理解しているかどうか説明させてみてください」というご指摘を受けたことも反省点の一つになります。

この点は本学の指導にとって必要不可欠な双方向対話型の講義を行う上で、欠けてはいけない部分でしたが、一方的に先に進むことだけを気にしてもいけないという意味でも非常に反省すべきところでした。

予定通りの進行にならなかった場合の調整力や、あくまで学生の理解度を最優先としながら進行していく対応力を身につけることができるよう努力していきます。

3点目は講義資料に関してですが、今回の講義資料を作成した際、不備な箇所があったため、何度か作り直しをした影響で、中島総長先生をはじめ先生方にご迷惑をお掛け致しましたこと、深くお詫び申し上げます。

最後になりましたが、今回、確認テストで全員満点であり驚きました。いつもは全員満点ではなかったもので、中島総長先生のご指導で今回は全員満点が取れ、たいへん勉強になりました。

中島総長先生が常におっしゃっている『公務員試験にどうやったら受からせることができるか』という点について、理系科目の担当者としては、いかに余計なものを排除して、分かりやすく、かつ単純に合格する最短の道筋示せるのか、という部分の追及をしていき、必ず合格させるという強い意思表示を学生に示しながら、より一層の努力を積み重ねていく所存ですので今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。